



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和4年4月号(第1号)
令和4年4月8日発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心もち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

喜んで登校 満足して下校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

令和4年度のスタートに当たって

校長 三島 公夫

暖かな日差しを背中に受けながら太陽の子広場にいると、甘く爽やかな花の香りが漂っていることに気が付きます。太陽の子広場に飾られた鉢植えには、昨年度の1年生と2年生が育てていたチューリップやビオラ、スイセンなど、色とりどりの春の花が咲いています。本日は、お子様の進級、入学、誠におめでとうございます。今年度は、児童数1,094人、学級数35学級、教職員数80人でのスタートです。

わたしたちは生きていく中でたくさんの人と出会いますが、その出会いの大切さについて述べた言葉があります。書家であり詩人でもある相田みつをさんの「その時の出逢いが その人の人生を根底から変えることがある よき出逢いを」という言葉です。わたしたちは人との出会いを繰り返しながら成長していきます。場合によっては、その中でたった一人の人との出会いが、人生を変えることもあります。今年も色とりどりに咲く春の花の香りに誘われて、出会った仲間や教職員が子どもたちにとって一生の宝となるような教育活動を展開しようという決意が湧いてきます。

令和4年度のスタートに当たり、今年度の学校経営方針についてお知らせいたします。

学校教育目標

心身ともに健康で 思いやりの心もち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

そして、特に重点をおく4つの事項を定めました。

- 1 学ぶ楽しさを実感する「本気で学ぶ」授業を創造し、「真の学力」をはぐくむ
- 2 児童一人ひとりのよさを生かし、「自己実現を図る力」をはぐくむ
- 3 たくましい体と健康や安全に気を付けて生活できる能力をはぐくむ
- 4 地域と連携した教育を推進し、「郷土を愛する心情」をはぐくむ

今年度から本校は、コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)として歩み始めます。常盤地区(常盤小学校、常盤北小学校、常盤中学校)では、2月に開催した3校による合同の会議で「『コミュニケーション力』を身に付けた人材を育成する」という目標を定めました。この目標を保護者、地域の皆さまと共有し、連携・協働しながら学校経営と子どもたちの健全育成に努めます。

また、今年も「喜んで登校、満足して下校」をキャッチフレーズに掲げます。常盤小学校のすべての子どもたちが、毎日、満足感や達成感を味わい、自分の「思い描く幸せ」を実現する力を身に付けられるよう、常に切磋琢磨する教職員集団でありたいと思います。

令和4年度も引き続き、保護者、地域の皆さまの御理解と温かい御支援をいただきますようお願い申し上げます。